



杉浦邦恵  
うつくしい実験  
ニューヨークとの50年

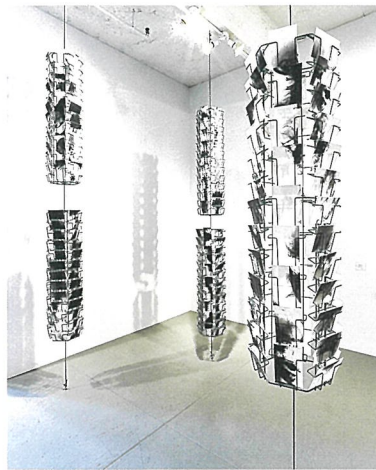
SUGIURA KUNIE  
ASPIRING EXPERIMENTS / NEW YORK IN 50 YEARS

2018年7月24日[火]ー9月24日[月・振休] TOP MUSEUM

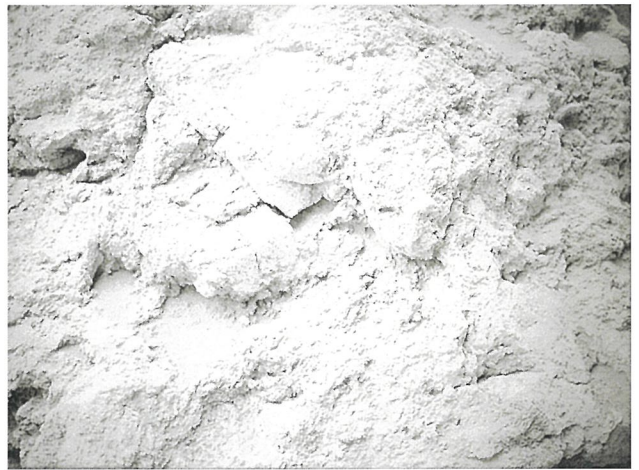
開館時間：10:00-18:00(木・金は20:00まで)ただし、7月26日[木]ー8月31日[金]の木・金はサマーナイトミュージアムにより21:00まで開館 \*入館は閉館30分前まで  
休館日：毎週月曜日(ただし、9月17日[月・祝]、24日[月・振休]は開館、9月18日[火]は休館) | 主催：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都写真美術館  
協賛：東京都写真美術館支援会員 | 会場：東京都写真美術館2階展示室 | 観覧料：一般 900(720)円/学生 800(640)円/中高生・65歳以上 700(560)円  
※( )は20名以上の団体料金 ※小学生以下および都内在住・在学の中学生、障害者手帳をお持ちの方とその介護者は無料 ※第3水曜日は65歳以上無料  
7月26日[木]ー8月31日[金]の木・金 18:00-21:00はサマーナイトミュージアム割引(学生・中高生無料/一般・65歳以上は団体料金) \*各種割引の併用はできません



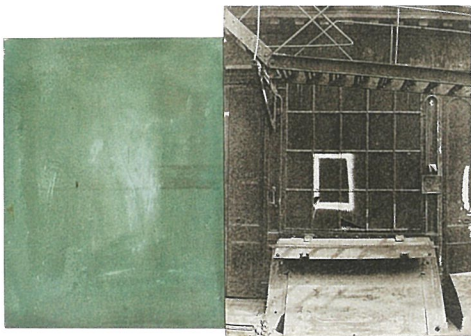
1



2



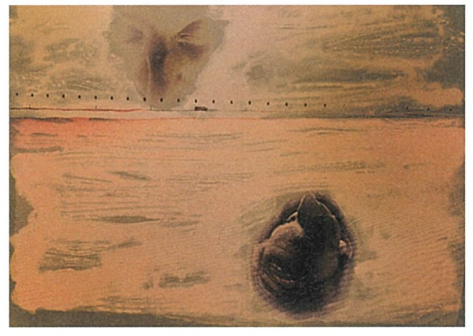
3



4



5



6

このたび東京都写真美術館は、「杉浦邦恵 うつくしい実験 / ニューヨークとの50年」を開催します。

杉浦邦恵は1963年、20歳の時に単身渡米し、シカゴ・アート・インスティテュートで写真と出会います。留学当初、写真を専攻する学生は杉浦をのぞいて殆どおらず、美術学校では絵画や彫刻がまだ主流という時代でした。しかし彼女は、表現としての写真の可能性にいち早く注目し、実験的な手法によって制作をおこなっていきます。魚眼レンズによる画像の歪み効果の使用や、人物と風景のモニタージュ、ソラリゼーション、モノクロとカラー・ネガの併用など、制作のプロセスを重視した表現形式を作家は最初期から模索してきました。

1967年ニューヨークに拠点を移した杉浦は、写真の伝統や因習を破ろうとする試みを本格的にすすめていきます。アクリル絵の具やカンヴァスを作品制作に取り入れるなど、写真と絵画を融合させる手法を展開し、ポップアートを始めとする60年代以降のアメリカのアート・シーンを背景にその渦中に身をおきながら、杉浦の表現形式は洗練され続けていきます。いっぽう、写真は光によって描かれるメディアである、という根源的な視点に立ち、伝統的なフォトグラムの手法をもとに、植物、動物、人間へとモチーフを発展させながら、独自の様式を生み出していきます。本展ではその50年を超える足跡をたどるとともに、杉浦の表現の先駆性と独自の世界観をとらえ、作品自体の魅力に迫ります。

杉浦邦恵  
うつくしい実験  
ニューヨークとの50年  
SUGIURA KUNIE  
ASPIRING EXPERIMENTS / NEW YORK IN 50 YEARS



撮影：石原悦郎

杉浦邦恵

1942年、名古屋生まれ。お茶の水女子大学理学科中退後、渡米。ニューヨーク近代美術館、ホイットニー美術館、ボストン美術館、東京国立近代美術館、愛知県美術館、埼玉県立近代美術館、東京都写真美術館などに作品所蔵。

【関連事業】

1 —— 杉浦邦恵によるレクチャー

2018年8月4日[土]14:00-15:30

定員：50名(整理番号順入場/自由席) | 会場：東京都写真美術館 1階スタジオ  
入場料：無料/要入場整理券・当日10:00より1階総合受付にて整理券を配布します。

2 —— 対談シリーズ

2018年7月27日[金] 18:00-19:30 あがた森魚(ミュージシャン・映画監督)×杉浦邦恵

定員：50名 | 会場：東京都写真美術館 1階スタジオ

2018年9月22日[土] 14:00-15:30 榎木野衣(美術批評家・多摩美術大学教授)×杉浦邦恵

定員：190名 | 会場：東京都写真美術館 1階ホール

入場料：無料/要入場整理券・当日10:00より1階総合受付にて整理券を配布します。

3 —— 展覧会担当芸員によるギャラリートーク

会期中の第1・第3金曜日14:00より担当芸員による展示解説を行います。

展覧会チケット(当日消印)をご持参のうえ、2階展示室入口にお集まりください。

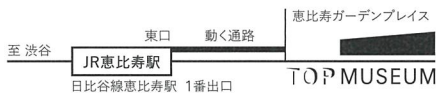
●事業はやむを得ない事情で変更することがございます。あらかじめご了承ください。

1《飛び跳ねるD ポジティブ》1996年/調色されたゼラチン・シルバー・プリント/作家蔵 | 2《(レントゲン) 柵のインスタレーション》1994年/ゼラチン・シルバー・プリント/アクリル板/金属製柵/作家蔵

3《桜島B》2016年/インクジェット・プリント/アクリル絵具/カンヴァス/作家蔵 | 4《市場の前面》1978年/写真乳剤/アクリル絵具/カンヴァス/作家蔵 | 5《ジェームス D ワトソン Dp2》2004年/ゼラチン・シルバー・プリント/作家蔵

6《孤 #4 - V2/2》1967年/発色現像方式印画/東京都写真美術館蔵 | 表面図版《電気服にもなってAp2、黄色》(部分) 2002年/黄色で調色されたゼラチン・シルバー・プリント/東京都写真美術館蔵

東京都写真美術館  
TOKYO PHOTOGRAPHIC ART MUSEUM



〒153-0062 東京都目黒区三田1-13-3 恵比寿ガーデンプレイス内  
Tel: 03-3280-0099 | www.topmuseum.jp  
JR 恵比寿駅東口より徒歩約7分、東京メトロ日比谷線恵比寿駅より徒歩約10分。  
当館には駐車場はございません。近隣の有料駐車場をご利用ください。